



多くの市民が市政に声を寄せる

—令和元年度—

市政懇談会 開催報告

市は、11月10日から30日まで市政懇談会を開催しました。今年のテーマは「人口減少対策」です。市内5会場で、それぞれ休日と夜間に、計10回開催しました。市が行っている人口減少対策について、多くの市民から意見が寄せられました。

■問い合わせ＝本庁政策企画課広報係（☎34-2126）

■会場別参加者数

会場	男	女	合計
水沢	41人	3人	44人
江刺	61人	3人	64人
前沢	19人	1人	20人
胆沢	22人	0人	22人
衣川	19人	6人	25人
合計	162人	13人	175人

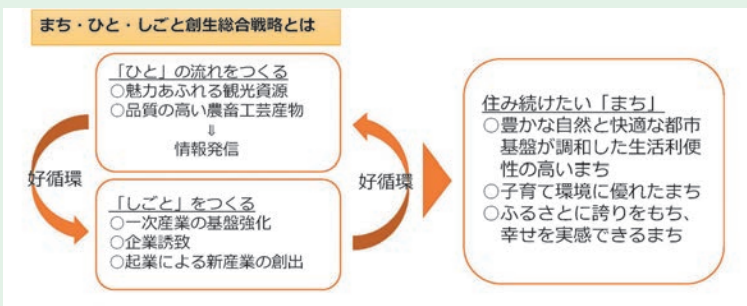


本年度のテーマの概要は、次のとおりです。懇談会の資料は市ホームページに掲載しています。左のQRコードまたは「令和元年度市政懇談会」で検索してご覧ください。



▼人口減少対策

人口減少がもたらす課題に対応するため、平成28年3月に策定した「奥州市人口ビジョン」と「奥州市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基づき、実施してきた今までの取り組みの成果や課題などを説明し、年度内に策定を進めている次期総合戦略に向けて、市民の皆さんから意見をいただきました。



▲懇談会資料から一部抜粋

未来を考え、意見を交換

「市民の声」を紹介

テーマ 人口減少対策

Q 若者の意見を聞きながら、どういう企業を市に誘致したらいいのか議論してほしい。

A 市だけではなく、市民や企業など、多種多様な目線で話し合いが行えないか考えていきます。

Q 女性が首都圏から戻ってきてても、正規雇用が少ないなど、女性の雇用のあり方を考える必要があるのではないか。

A 女性の働く場所やその環境づくりについて、さらに努力をしていきます。

Q 人口減少対策を講じても、直ちに人口減少に歯止めはかけられないと思う。それよりは、人口が減少する

中で、空き家の増加、公共施設の老朽化、所有者が不明な土地といったさまざまな問題にどのように対応していくかを考えるべきではないか。

A 急激に人口の増加につなげることは難しいので、現実的には人口が減少しても、地域が元気で前向きでいられるような対策を考えていきます。

Q 遊休農地を、企業誘致する大胆な土地利用に取り組み、今の若い世代が夢を描けるようなビジョンを描くことが大切な視点ではないのか。

A 市として一定の計画を提案し、民間による開発ができるような環境づくりの可能性について検討します。

自由懇談

市ホームページ

Q 市のホームページは、他市町村のホームページと比べて非常に見づらいので、もう少し利用しやすく工

夫をお願いしたい。

A 結果として、まだまだ利用者本位のホームページになっていないと感じています。現在の市のホームページを見てどのような評価になるのか、一般の皆さんにモニターになっていただき、他市町村のホームページと見比べると、客観的な評価を踏まえて改善を検討します。

ふるさと納税

Q ふるさと納税で、通学路や歩道を清掃してもらうことはできないのか。

A 市では特徴的な返礼品として「寄贈型返礼品」に取り組んでおり、これにさらに深掘りし、より多くの人たちに支持をもらえるようなスタイルを検討します。

若者支援

Q 地域行事に若い人が出たてこない、地域にリーダーとなる若手がいないなどの声があるので、仲間と共に若い人たちが各地域で活躍で

市民の皆さんからのご意見を、これからの市政運営に生かしていきます。ご参加ありがとうございました。

きる環境を作っていただきました。

A 各地域のお祭りに厄年の人たちが参画する取り組みは、仲間づくりに貢献しているの、今後は各地域で若い人が活躍できる環境づくりについて、しっかりと検討していきます。

交通政策

Q バス停まで行けない人が非常に多くなるので、現在の大型バスではなく、小回りの利く足を確保するような支援策に取り組めないか。

A 現在、第3次バス交通計画を策定しており、その中で検討していきます。

温泉施設

Q ひめかゆ温泉を譲渡した場合、今までどおり利用できるのか。

A 譲渡後も、今までの利用形態・サービス形態が維持されることが基本的な前提となります。